

2024 年春 グローバル理工人育成コース

超短期海外派遣プログラム (AOTULE シンガポール・マレーシア) 募集要項

= 重要 =

・本プログラム参加にあたっては、必ず応募説明会に参加、および奨学金支給に関する説明会動画を視聴し、家族・保証人及び指導教員に相談し、同意を得ること。

応募説明会及び夏の派遣報告会：@W8E-101 2023年10月11日(水) 12:40-14:30
・12:40～13:10(説明会)・13:10-14:30(夏の派遣報告会)

奨学金支給に関する説明動画：10月11日(水)の説明会以降に公開

http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship_shortterm_2024_spring/

・感染症拡大、自然災害等の影響により、渡航が中止になる場合や、渡航開始後であっても本学の判断で途中帰国を指示する可能性がある。またその際に、**自己負担のキャンセル料が発生すること**を了承の上、応募すること。

・以下の状況となった場合、渡航を中止する、また渡航期間或いは渡航先を変更することになる可能性がある。

(ア) 滞在(予定)地域が日本からの渡航者・日本人に対する入国制限措置及び入国・入域後の行動制限を発令した場合

(イ) 本学が危険と判断した場合

(ウ) 滞在(予定)地域の危険情報レベルが2以上になった場合

(参考:外務省 海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

(エ) 派遣先大学、機関等が受け入れを拒否した場合

・以下の大使館の URL には最新情報と、日本からの渡航者に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限が記載されているので、必ず確認すること。

[在シンガポール日本国大使館] https://www.sg.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

[在マレーシア日本国大使館] https://www.my.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html

【概要】 本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。本学が加盟する AOTULE (The Asia-Oceania Top University League on Engineering) のメンバー大学である南洋理工大学を中心に、研究所、企業、その他大学(シンガポール工科大学)等を訪問し、学生交流、研究室訪問、工場見学、現地学生宅へのホームビジットを予定しています。本プログラムの参加者を下記の通り募集します。

【派遣先】 シンガポール、マレーシア

【渡航期間】 2024年3月10日(日)～3月21日(木) (10泊12日)

【費用】 20-25万円程度(予定)(航空券代、現地宿泊費)

*旅費支援(10万円)については下記【奨学金支援】を参照のこと

*現地諸経費(食費, 交通費等), ビザ代(該当者のみ), 海外旅行保険料は費用には含まれない。

*大学の指定する海外旅行保険に加入する必要がある。

*航空券と現地長距離移動, 現地宿泊に関する手配については一括で手配する。

ただし参加人数により航空券のみ個人手配になる可能性がある。

*宿泊先はプログラム指定ホテルとなる。(2名1室)

【単位付与】

- ・ 学士課程1年生および2年生の参加については、「グローバル理工人海外研修ベーシックIB(1単位)」の単位が付与される。
- ・ 学士課程3年生及び4年生, また修士課程の学生の参加については、「グローバル理工人海外研修IB(1単位)」の単位が付与される。学士課程4年生の参加については, 以下の条件を満たす必要がある。
 - 1) 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず, 卒業できる見込みがある。
 - 2) 卒業あるいは大学院進学認定に必要な手続きに支障を及ぼさない。
- ・ 上記にかかわらず「グローバル理工人海外研修」等ではなく所属学科の科目による単位付与が行われる場合がある。

【応募資格】

1. 東工大正規課程学生(学士課程および修士課程の学生)。
2. 現地で英語授業を聴講する程度の語学力を有していることが望ましい。
3. グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている者を優先する。
 - ① グローバル理工人育成コースの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
 - ② ポートフォリオに必要事項(グローバル理工人育成コースの志望動機, 所属時ループリックの入力)をしている。

グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細は, 以下の URL にて要確認。

<http://www.ghrd.titech.ac.jp/> (応募者多数の場合は, 超短期派遣に初めて参加する者を優先する。)

【応募方法】

T2form (<https://www.t2form.titech.ac.jp/sv/716733?lang=ja>) から申し込み。

【募集人数】 10名 (最少催行人数6名に達しない場合, プログラムを中止する場合がある。)

【選考方法】 書類審査及び面接 (面接は書類審査通過者のみに実施する。)

【応募締切】 2023年10月31日(火) 午前9:00

応募に際しては申請書類に指導教員, またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。

その際, 下記書類を必ず当該教員に確認いただくこと。

http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/AA_letter_spring2024.pdf

留学生の参加については, 渡航先のビザ取得期間等を確認の上, 応募の可否を自身で判断すること。

【面接予定日】 2023年11月6日(月)~8日(水) 大岡山キャンパス: 対面

【結果通知】 11月10日(金) 16時までにメールで連絡

【本プログラムに関わる活動について】（注：日程は変更になる可能性があります。）

上記単位付与のために、本プログラム参加者は、渡航期間を含む下記の国際教育に関わる活動への参加が義務付けられます。

- ・2023年10月11日（水）12:40-14:30 応募説明会及び夏の派遣報告会@W8E-101
- ・2023年12月5日（火）12:40-13:30 書類説明会（JASSO 奨学金/東工大基金）@W241(W2-401)
- ・2024年1月10日（水）17:30-19:10 グローバル理工人育成コースシンポジウム（ZOOM）
- ・2024年1月11日（木）12:40-13:30 T2appによる留学手続きに関する説明会@W8E-101
- ・海外安全オリエンテーション @zoom アーカイブ動画を視聴
<https://tokyotech.app.box.com/s/cud7rynjv855hfearvbp6qqkv74pekll>
- ・2023年11月～3月：事前学習、グループワーク各5回（日程は別途通知）
- ・2024年3月：現地研修
- ・2024年5月：成果発表会

【現地研修スケジュール予定】

Date		訪問先・活動（予定）
3月10日	日	夕方の便でシンガポールへ出発
3月11日	月	南洋理工大学
3月12日	火	AM: 南洋理工大学 PM: タウンウォーク Route 1
3月13日	水	AM: シンガポール工科デザイン大学 PM: タウンウォーク Route 2
3月14日	木	企業訪問
3月15日	金	南洋理工大学 日本語受講学生宅 ホームビジット
3月16日	土	シンガポール国立博物館等
3月17日	日	マレーシアへ移動
3月18日	月	マレーシア内大学訪問・学生交流
3月19日	火	企業訪問（島津製作所・Malaysian Palm Oil Board）
3月20日	水	シンガポールへ移動後、日本帰国便に搭乗
3月21日	木	午前中帰国 到着後解散

【奨学金支援: 海外留学支援制度（協定派遣）について】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度（協定派遣）の支援対象であり、以下の要件を満たす者については、この制度により留学に係る費用の一部(10万円)を奨学金（及び渡航支援金※）として支給する。

奨学金の支給要件

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（特別永住者を含む）。
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上である者。

[成績評価係数の算出方法]

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

計算式：(「評価ポイント3の単位数」×3) + (「評価ポイント2の単位数」×2) + (「評価ポイント1の単位数」×1) + (「評価ポイント0の単位数」×0) / 総登録単位数

* 学士課程1年生の場合は、前学期の成績の成績評価係数を算出する。

3. 海外渡航を含め、31日以上(説明会・事前学習等を含む)の国際教育に関わる活動に参加すること。そのため、「グローバル理工人研修（ベーシック）IB」等の海外派遣に関する単位と共に、超短期海外派遣奨学金支給指定科目より、渡航前に実施される科目を1科目履修し、必ず単位を取得すること。超短期海外派遣奨学金支給指定科目：

【3-4Q 指定科目】

http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/3_4Qcourse.pdf

【1-2Q 指定科目】（参考用）

http://www.ghrd.titech.ac.jp/gsec/wp-content/uploads/2023/09/1_2Qcourse.pdf

4. 奨学金の併給について

- 4-1. プログラム参加にあたり、本制度以外の奨学金を受ける場合、支給額が本制度による奨学金額を超えないこと。本制度以外の奨学金支給団体側が、併給を認めない場合があるのでしっかり確認すること。渡航に係る費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない。
- 4-2. JASSO 国内の奨学金「第一種・第二種奨学金」（貸与型）との併給は可能。
なお、留学期間中の貸与を休止する場合は、学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。
- 4-3. JASSO 国内の奨学金「給付奨学金」との併給は認められない。留学期間中の給付を停止する場合は、本制度による奨学金支給を受けることができる。学生支援課経済支援グループに申し出、必要な手続きをとること。

5. 以下の家計基準を満たす場合には、本制度による奨学金に加えて、「渡航支援金」（16万円）の支援対象となる可能性がある。

(家計基準)

家計支持者全員の収入・所得金額の合計が

給与所得のみの世帯：年間収入金額（税込）が300万円以下

給与所得以外の所得を含む世帯：年間所得金額（必要経費等控除後）200万円以下

※ 家計支持者の収入・所得を証明する書類の提出が必要。取り寄せに時間がかかる場合もある為、対象となる可能性がある場合は、プログラム参加決定後すぐにグローバル人材育成推進支援室に申し出、必要書類を確認すること。

奨学金の支給要件Ⅰ.のみを満たさない場合（留学生※）については、東京工業大学基金より支援するが、その他の要件はJASSO海外留学支援制度（協定派遣）同様である。

※国費外国人留学生については、国費外国人留学生（日本政府（文部科学省）奨学金）制度の規定により、本プログラムの為の支援はない。

支援対象者決定までのスケジュールについて

11月10日（金） プログラム参加可否のメール通知時に、海外留学支援制度（協定派遣）また東京工業大学基金の支援可否を通知する。

特記事項

- ◆ 海外留学支援制度（協定派遣）の支援を受ける場合、必要な手続き、提出物があるため、「書類説明会（JASSO奨学金/東工大基金対象者）」に必ず参加し、案内する期日までに提出物を必ず提出すること。
- ◆ 支給要件を満たさない事が後日判明した場合、また、履修状況等により本学において単位認定出来ない場合には、奨学金の支給後であっても、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
- ◆ **本プログラムへの応募を検討する際は、必ず奨学金支給条件に関する説明会の動画を視聴すること。**
http://www.ghrd.titech.ac.jp/scholarship_shortterm_2024_spring/

【問合せ先】

グローバル人材育成推進支援室・留学情報館（Taki Plaza B1F）メールボックス：TP-004
電話：03-5734-3520 / email: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp